

平成 18 年 11 月 7 日

2 号機原子炉建屋内における水漏れについて

当所 2 号機は定期検査中ですが、圧力抑制プールの水位調整のため原子炉建屋床ドレンサンプ* (B) への排水作業を実施していたところ、平成 18 年 11 月 6 日午後 1 時 26 分、中央操作室において、原子炉建屋地下 1 階で漏えいを示す警報が発生いたしました。

ただちに運転員が現場へ急行したところ、当該床ドレンサンプ近傍の排水口まわりに水たまりおよび排水口からの溢水を確認いたしました。

このため、サンプポンプを手動で起動したところ、溢水は停止し、たまり水は排水されました。

今後、原因について調査いたします。

なお、漏えい水は堰内に留まっており、漏えい量は約 6 リットル、放射エネルギーは約 3×10^4 ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施いたしました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 床ドレンサンプ

各建屋内の漏えい水や機器（ポンプ・配管等）からの排水などを処理するために一時貯蔵する槽。